

「出来ることから始めよう」「この指止まれー!」

団体の活動概要

わたしたちの住んでいる「まち」には映画館がありません。それなら「私たちの手で映画の上映を！」といったことから始まった活動。そして一九九二年から二〇〇二年まではフリーマーケットやアースデイ、ビーチ・クリーンアップなどの環境イベントを展

開、二〇〇三年以降は、主に「まちライブ」として、アマチュア音楽家の発表の場の提供や、私たちの活動の趣旨に賛同してくれたフリの演奏家の協力を得て、私たち自ら、企画から当日の運営まで行い、自治体のホールではなく、まちのあちこち（レストラン・結婚式場等）でライブ（コンサート）を開催しました。一年を通じ、「ま

ちを元気にしていこうー」という活動を展開しています。

活動の特色

「出来ることから始めよう」「この指止まれー!」この二つが私たちの活動の柱になる言葉です。活動は強制するものではなく、「好きなもの・こと」に対して何かをしようーということが、私たちが活動を始めた時の考えで、その思いは今も変わりません。何かをする、出来るだけ自分たちの力で、また、特定の場所だけでなく、まち内外、県内外と活動の場所を広げ、他の団体とも積極的にかかわりを持ち、お互いの活動に参加・協力しながらつながりを持ち、会員だけでなく、色々な人たちが関わって、お互いに出来ることをして（続けて）います。

私たちの活動のベースは「何かを始め、そして続けていく。そして肩の力を抜いて楽しくー!」こうした思いがあるのです。

活動の成果

私たちが行ってきたこと、それはほんの小さなことかもしれませんが、けれど、長い間続けてきたことで、少しずつですが、まちに「生

と、「活気」が出てきたように思えます。

今後の目標

「あそこでも何か楽しそうなおことをしているー!」そういった声がいりいろなところから聞こえ、そしていろいろなところから色々な人が、私たちの住むこの「まち」に楽しみをもとめてくる、また、地元に住んでいる人たちも楽しさを共有していく、そういう「まち」にしたいと思いつつ活動が続けています。また、活動の拠点となる場所を複数作ってほしいと思っています。

メッセージ

「すべての人の心に花を」



Profile

EAST WIND
 代表：横田 文弘
 住所：神栖市波崎 8669
 電話：0479-44-3699
 会員数：27名



ふれあい・いきいきサロン 天川ふれあい円クラブ

「グラウンドゴルフを通じて、要介護にならない為に、楽しみながら健康増進を図る」

団体の活動概要

健康の大切さと生きる喜びと、楽しい仲間づくりの活動を目的として、高齢者の心と体の健康作りに取り組んでいます。

活動の特色

- 一 協働性：町内会・天寿会・かざぐるまとの協力にて、要介護にならないためにグラウンドゴルフを楽しく実施している。
- 二 複合性：地域福祉・環境保全・青少年育成・交通安全・地域の活力づくり等を実施している。
- 三 専門性：要介護にならないために、草刈りなどの環境美化活動・食生活についての各研修会を実施している。
- 四 広域性：健康体操、グラウンドゴルフ等をクラブの活動から町内全体の活動に広げた。
- 五 先進性：いきいきヘルス体操や、グラウンドゴルフを他の団体より先に取り入れた。

活動の成果

一 要介護にならないために、「天川ふれあい円クラブ」常任メンバーが主役、みんなが運営、夢が大きく広がり、楽しく・気楽に、

無理なく「をスローガンに、グラウンドゴルフを実施したことにより、口コミで会員も増えています。

二 グラウンドゴルフは、高齢者、障害者、地域住民だれでもが参加でき、優しくて会話をしながらできるため、健康の増進に最適で、笑いがたえない楽しい仲間づくりが出来た。(嬉しいです)

三 グラウンドゴルフは場所を選ばず町内の公民館・公園・広場など、どこでも出来るため、会員に負担を掛けることなく楽しく実施出来るため、大きな効果につながっています。

今後の目標

一 他の高齢者クラブにも、呼びかけて一人でも多く要介護にならないようにしていきたい。

二 天川ふれあい円クラブ全員がグラウンドゴルフに参加出来るように頑張っていきます。

三 グラウンドゴルフの練習を重ねて、町内・土浦市・茨城県の大会に参加していきます。

四 天川ふれあい円クラブの事業に対して参加が増加しています。常に九十%以上の参加率に

なるように努力して行きます。

五 日帰り・泊まりを兼ねて自然に囲まれた天然芝の爽快なコースで実施できるように検討して行きます。

六 天川町内の人口二、二五七人のうち六十歳以上が八六八人(三十八%)であり、高齢者の健康増進活動を通じて町内の皆様が元気で笑いのたえない町にして行きます。

メッセージ

天川町内の誰もが健やかで心豊かに暮らしていくためには、天川に住む皆さん一人ひとりが、お互いを理解し共に支え合えるような地域社会を自ら創造していく必要があります。

グラウンドゴルフは、血圧・血糖値を下げる効果もあるので、要介護予防と健康増進の為に、楽しみながらをこれからも進めて行きます。

また、町内で一番困っている腰痛・肩・足の痛み等の対応として、健康体操を他町内よりいち早く取り入れたことにより「体が軽くなった」「座れるようになった」との声があり会員も増加しています。



Profile

ふれあい・いきいきサロン
天川ふれあい円クラブ
代 表：新堀 茂男
住 所：土浦市天川 2-15-5
電 話：029-822-5564
活動エリア：天川児童公民館・天川公園
毎週火曜同
午後 1 時～ 4 時まで

「市民目線のまちづくり」

わくプロジェクト

私たち、わくわくプロジェクト土浦「わくプロ」は、住民が地域の資産を生かしながら創意工夫をすることで世代間交流、地域交流を行っています。

わくプロ長所

土浦のたくさんの行事に、住民がおもてなしをするチャンスを創出し、その役割を担いながら行事に参加しています。

霞ヶ浦を抱く土浦で、ゴミを減らせるような活動を行っています。

家では廃物になる、廃油、ペットボトル、ジャム瓶、牛乳パックは「わくプロ」メンバーにとって大事な材料になります。

皆で試行錯誤しながら作ったエコキャンドルの明かりはとってもきれいです。

住民のみなさんの好意でいただいた廃油はエコキャンドルのほかにも、石けんに加工しています。

わくプロ効果

地域のために何かしたい、でも何をしたらいいのかわからないと戸惑っている人が大勢いました。

「わくプロ」は、そんな住民の方々と一緒に、自分たちができることを見つけることから始めました。

住民が、自ら活動するチャンスを創出することで、土浦の街を大好きになり、自然とおもてなしのココロが芽生えてきました。

イベントに参加してくれる方々との交流を通して、生きがいや心の潤いを感じるようになりました。

わくプロ目標

もともとイベントが盛んに行われている土浦で、まちづくりに貢献したいと思っています。

より気軽に、参加できるきっかけや仕組み作りを、工夫したいと考えています。

夏の灯籠流しのイベントでは、数ヶ月前から灯籠作りのワークショップを開催し、そこで作成した灯籠を、お祭当日に持ってきて流していただくといったような企画を用意し、参加者が、土浦のまちづくりへの興味を持ち、好きになってもらえるきっかけ作りをしていきます。

この一年間活動を続けてきたことで、他の団体やグループに知っていただくことができました。

色々なグループと、意見交換や交流をしながら、誰にでも住みやすいまちづくりに貢献したいです。

わくプロメッセージ

何でも手に入る時代に生きていく私たちは、ともすれば、お金がなければ何もできないという錯覚に陥ることがあります。この不況の時代でも、私たちの知恵とエネルギーは無限です。

あなたの身近にあるものが、知恵と工夫のスパイスで色々な可能性に変わります。



頭と手をたくさんつかって、たくさんの人と交流をしながら、住みよいまちづくりを一緒にやりませんか？



Profile

市民ネットワーク
わくわくプロジェクト土浦
代 表：日辻 美香
住 所：土浦市生田町 8-25
電 話：029-826-6390
URL：http://ameblo.jp/wakpro-tsuchiura/
活動日：毎月 第2・第4日曜日
(イベント開催日によって変更有)

「交通安全を核としたモデル活動」

団体の活動概要

当会は、会員互助の親睦を図り健康増進、社会奉仕、地域安全等に取組んでいる高齢者クラブです。今回の助成により反射ベスト、赤色灯、雨具等の活動用品を揃え、土浦地区安全協会の指導のもと高



齢者や学童の事故防止や防犯防災を含めた、地域の安全に資する取り組みを拡充実施してまいりました。

活動の特色

「見て・聴いて・体感して」を基本理念に、八月に学童の自転車実習を兼ねた交通安全教室（五七名参加）、九月に市高齢者芸能発表会で交通安全音頭、十月には交通安全出前講座を実施しました。

これらの取り組みにより、土浦警察署長から高齢者向け安全指導を推進するため、全員が交通安全シルバリーリーダーの委嘱を受け、結成式において、地域の安全に努力することを誓いました。

活動班を四班一七名で編成し、十二月までに一〇七名の住居を訪問して、散歩の際には、反射たすきをつけることやアンケートなどを実施し、交通安全への意識啓発を行いました。

毎夕の防犯巡回や登校時の立哨に加えて、懸案だった下校時の立哨も十一月か

ら毎週月曜日に実施することとしました。

二月に総集編として、三世代及び近隣町会の交流事業である西根南地区交通安全フェスティバルが一〇八名の方々の参加のもと盛大に開催されました。フェスティバルでは、活動内容とアンケート結果の報告、交通安全音頭の披露、交通安全クイズ、酒酔い疑似体験、ランチタイム交流を実施し、参加者が真剣に学ぶ姿を見ることができました。

活動の成果

隣の三丁目三寿会でも健康増進と安全意識の高揚を図る為、交通安全音頭を採用していただきました。

また、近隣の町会の方々にも多数の参加を頂き絆を深めることができました。

平成二十一年度中の茨城県交通事故のうち、飲酒運転によるものと高齢者が被害者となる件数がそれぞれ全国ワースト二位、五位という悲しい結果となり地道な継続した取り組みが求められています。

小さな願いが輪を拡げ悲惨な事故の減少に繋がれば幸いです、会員

の活動による土気の高揚が最大の成果です。

今後の目標

交通安全の出前講座を継続して開催します。特に、反射材の着用促進や赤色灯使用実習等により資質の向上を図りたい。

また、新年度から、独居世帯などを対象とした福祉及愛活動も実施の予定です。

メッセージ

講習等に参加できない方でも安全問題には関心あります。



Profile



西根南二丁目 竹寿会
代 表：富田 丈夫
住 所：土浦市西根南 2-1-20
電 話：029-842-0031

「学生と地域を結び、共に成長していくためのプロジェクト」

団体の活動概要

筑波大学が総合大学であることを活かす活動をしている。学際的な学びと交流を促進し、その学習を地域に還元するというのが、基本スタイルで行っています。

活動の特色

若さあふれる大学生らしく、フットワークは軽く、他団体からの依頼はもちろん、自分たちから様々な人や団体に声をかけています。たとえば、小中高生に学問について知るきっかけを与えるために、夏には大学生と学習する「宿題おたすけ塾」、春には大学生の卒業研究の発表を聞ける「十人十色の卒業研究発表会」を開催し、その広報のために小中高校にチラシを配りに行ったりしています。

また、芸術を学ぶ学生がイベントのポスターを作成したり、各メンバーが大学で学んでいる学問・技術を活かして、より効率的にイベント運営をしています。さらに、パソコンやインターネットなどの最新の機器を扱える学生もいるた

め、より効果的な広報や活動が展開できるのも特色であります。

活動の成果

- ・大学生と地域の交流
- ・八月と三月に大学生と小中高生が共に学べる学習会を開催しました。
- ・市民参加で医療を救う企画を開催
- ・医学生ならではの視点で、一般の人に医療を救うことができる方法を伝えるイベント「医っQ（イックユウ）」を開催しました。
- ・学びと運動フットサル
- ・地域の人も参加できるフットサルチームを週に一回運営しました。
- ・ラジオ番組の放送
- ・学生から地域への情報発信として、毎週休まずに三十分間のラジオ



元人間魚雷隊員を囲む話し会
2009年4月29日 場所 筑波大学 大学会館



夏休み宿題お助け塾
2009年8月28日 場所 並木公民館



日本の医療を救う医っQ
2009年12月5日 場所 筑波大学

今後の目標

メディアに掲載されることも多くなり、少しずつではあるが団体の知名度も増してきました。今後はより多くの団体と協働し、より多く地域への貢献を図っていきたい。そのためには、各活動の反省、改善、次世代への引き継ぎをより入念に行います。

メッセージ

「地域に開かれた大学」を目指しており、私たちはまだまだ地域に出ている力を持っています。これまで地域に求められていることをやってきました。

しかし、もっと多くの地域の人の声が、明日の日本を担う若者を成長させるためには必要です。地域と学生が共に成長するためにより一層連携を深めてまいります。

きっと相互の交流により、元気にみんなが「大好き茨城」と言える素晴らしい街になるでしょう。



Profile

筑波大学 賢謙楽学
代表：大流 優
連絡先：090-2410-0674
インターネットで、ケンガクと検索してください。
Mail：tsukuzemi@yahoo.co.jp
URL：http://ken2gaku2.net/
本気で日本の医療を救う医っQ
http://medicalaction.tsukuba.ch/
活動エリア・日時
つくば市近郊 不定期

「花いっぱい」で地域も明るく

団体の活動概要

環境ボランティアは、学校の花づくりをおして、開かれた学校づくりや地域の活性化に役立てようとの趣旨で行っています。

活動の特色

学校の環境を整えるためには、地域の協力は不可欠であり、整った学習環境の中で、子どもたちはのびのびと学習しています。

活動の成果

今年度はボランティアの方々から四五名に増えました。学校では、子どもたちが土入れ



や、種から育てた苗をポットに移植します。その時にボランティアの方が、植え方を教えながら、一緒に話をします。このことにより子どもたちは、地域の方々との結びつきも深まります。防犯パトロールも兼ねている方もいらつしやるので、意識が広がることは効果があります。

また、地域の方々から、きれいな学校に関心を寄せ、よく訪れてくれます。高齢者福祉施設の方々も口々に学校の美しさを褒めていってくれます。円形花壇は季節ごとに変化があります。

花壇に入れる肥料は、手作りの腐葉土です。何回かの切り返しを行います。また、牛糞も酪農場から購入します。保護者の方がトラックを借りて運ぶ時もあります。

今後の目標

花と緑の環境美化コンクールで、昨年度は、花き園芸協会会長賞を受賞し、本年度は、茨城県教育長賞をいただきました。次年度は、県知事賞を目指して取り組んでいきたいと思っています。

メッセージ

稲小学校は、花と緑の木々に囲まれた学校です。

春は、パンジー、キンギョソウ、キンセンカなどすばらしく咲き誇ります。

初夏には、松葉ボタン、マリーゴールド、サルビアが花壇やプランターを埋め尽くします。

まさに、百花繚乱、誰がために花開くという感じがします。地域の方々も、散歩に来ては、花を眺めていきます。地域の方々からは、「稲小から熱気を感じる」との言葉も聞かれます。花を育てることで、子どもたちも落ち着いて過ごしています。今後とも、多くの人に愛される学校にしていきたいと思っています。

Profile



取手市立稲小学校
団体の連絡先：取手市立稲小学校
(教頭)
住所：取手市稲 70
電話：0297-74-3138
活動エリア・日時：稲小学校・随時



「市民の交流の機会や場所づくりをすすめる町の活性化に貢献する」

団体の活動概要

創年（そうねん）とは地域の為に自らの力を発揮し、創造的に生きる大人（中高年）を呼ぶ。また、地域の青少年と共に生涯にわたって自分が輝き続けるよう生きることがを主張する活力ある人を言います。

活動の目的

「日本一褒たきり老人の少ない町にしたい。」その夢を持ち、創年を主体とした市民の交流の機会や場所づくりをすすめる町の活性化に貢献しています。

メッセージ

梓にはまらず幅広い視点で活動しています。
活動の目的別に創（班）があり創で立案した催事に全員で取り組んでいます。

- アカデミー創：生涯学習の推進
- ローンボウルズ創：スポーツの振興
- マップ創：ふるさと発見と紹介
- レクリエーション創：健康維持増進
- ボランティア創：環境美化と福祉支援

活動の成果

- ・町の見所マップと手づくりいろは歌留多の作成展示（三月）↓町を知ることにより役立ち町が好きになりました。
- ・ローンボウルズ大会（六・十一月）↓老若男女多くの市民が開催を楽しみにしてくれるようになってきました。
- ・歌声喫茶（八・十一月）↓奥さんに誘われ男性も参加、男の地域デビューに貢献しました。



活動の成果

- ・男の厨房（料理）（二月）↓女房をうならせたいと賑やかに楽しく
- ・小貝川の清掃（四月）↓年々ゴミが減り活動が地域に理解されてきました。
- ・ふれあいサロン交流会（九月）↓どじょう捌きを市民に披露し大うけしました。
- ・ちびっ子芋掘り会（十月）↓16農園で育てたさつま芋掘会、園児七十四名が大喜び、最高の笑顔。
- ・老人ホームへ野菜寄贈（十二月）↓地産地消活動の一つ、人生の先輩へ喜べのプレゼントで感謝されました。



今後の目標

- ・市民の集い（いこいの場）年六回↓社会福祉協議会の催事に会場へ手伝いの人員を派遣、市民と一緒に楽しみました。

メッセージ

「創年が元気な町は町も元気」よく遊び、よく学ぶ」が我が会の考えです。皆が主役のこの会には最高の仲間たちがいます。



Profile

16 (イチロク) 創年の会
代表：山下 勲
住所：〒300-1525 取手市桜ヶ丘 3-8-11
電話・FAX：0297-82-6485
定例会：毎月第三土曜午前中



つくば市立手代木南小学校PTA

「学校・PTA・地域による安全活動」

活動の特色

つくば市の中心に位置する手代木南小学校は、研究学園都市整備に伴い、昭和五十四年に開校した小学校です。

PTAでは、学区内十三地区のPTA会員による防犯パトロール、交通安全指導を行い、従来より子供たちの安全を守る活動に努めています。

平成二十年より「おやじの会」を中心とした夜間パトロールを定期的に行い、街路灯・防犯灯の点検など、地域内の防犯活動にも力を入れています。

今年度は、このような独自の活動をより安定させ、さらに、行政・専門機関の助言・指導をいただきながら、新たな活動の取り組みを開始しています。

活動の成果

一 PTA主催防犯ポスターコンテストの開催

PTA初の試みとして、児童による「防犯ポスター」作品募集を行うことで、子どもたちの防犯意識の向上を目指しました。

作品を募集した結果、六十一

作品の応募があり、その中から最優秀作品1点をポスターに加工し、地域内の公共機関・事業所・自治会に掲示をしていただきました。

二 校区内安全マップの作成

地区委員会が「危険箇所調査」を行い、おやじの会を中心とした「防犯パトロール地図」や、一〇番の家と通学路等の情報を網羅した「手代木南小学校区防犯マップ」を作成しました。

防犯意識を高めてもらうため、PTA会員をはじめ、新入生保護者説明会において、未就学児の保護者にも配布しました。

三 「一〇番の家」ウォークラリーの開催

PTA会員及び子ども達に「一〇番の家」の所在地を知ってもらう目的で、ウォークラリーを開催しました。

このことにより、子ども達は、地域で守られているという安心感と共に、感謝の気持ちを持ってくれたと思います。

今後の目標

学校・地域・PTAの連携を深めながら「地域の子ども達は地域

で守る」という活動を継続していきたいと思えます。

メッセージ

手代木南小学校は「学校に通いたい、学びたい、楽しい学校」を柱とする教育目標が、緑豊かな環境の中で受け継がれてきました。

これからも、良き伝統を守り続けられるように「学校・地域・PTA」で、協力しながら頑張っていきたいと思えます。

最優秀賞作品



手代木南小学校3年 望月 康平 君



Profile

つくば市立手代木南小学校 PTA
 住所：〒305-0035 つくば市松代 4-24
 代表：豊島 聡
 電話：029-851-2461